

夏休み特別企画を実施しました

愛知・名古屋 戦争に関する資料館では、戦争体験を次世代に伝え、平和の大切さを学んでいただくため、毎年8月に夏休み特別企画を行っています。

今年は8月2日から18日にかけて、小中高生を対象に「戦争体験談を聞く会」(全8回)、一般の方向けに「原爆被災体験を聞く会」(1回)と「専門家による特別講座」(全3回)を実施し、企画全体で260人を超える方々に参加していただきました。

暑期中、資料館へ足を運んでいただきありがとうございました。

戦争体験談を聞く会

「戦争体験談を聞く会」では、戦争体験者やその体験談を引き継ぐ語り手から直接戦争体験談を聞き、その後、資料館で実物資料を見ることで、参加者に戦争について考えてもらいました。



戦争の悲惨さについて深く学ぶことができました。この経験を次世代に伝えていけるような人になりたいと思いました。(13歳、女性)

とても大変な生活で思うように食べ物が食べられないなど、いろいろな体験談を聞き、すききらいをしてはいけないということであらためて感じた。

(11歳、女性)



せんそうのこわさをしり、自分の命を大切にしていこうと思いました。

(9才、男性)



せん争は、家族がバラバラになったり、家がもえてしまったりして、悲しいことばかりで、ちゃんと対話をせず、せん争してしまうのはすごくごん念と思いました。(10歳、女性)

原爆被災体験を聞く会

「原爆被災体験を聞く会」では、8月6日の広島原爆の日にあわせ、被災者の方にその体験談を語っていただきました。



お話を聞いてよかったです。戦争や原子爆弾は絶対に使ってはならない、やってはいけないものだとわかりました。

(11歳、女性)

爆心地近くにいる、救護された鬼頭さん、堀さんのお話では体験した方にしか知りえない恐ろしさ、悔しさを具体的な状況と共に説明していただき、核の拡散や戦争が今なお私たちに直結するお話として十二分に伝わってきました。

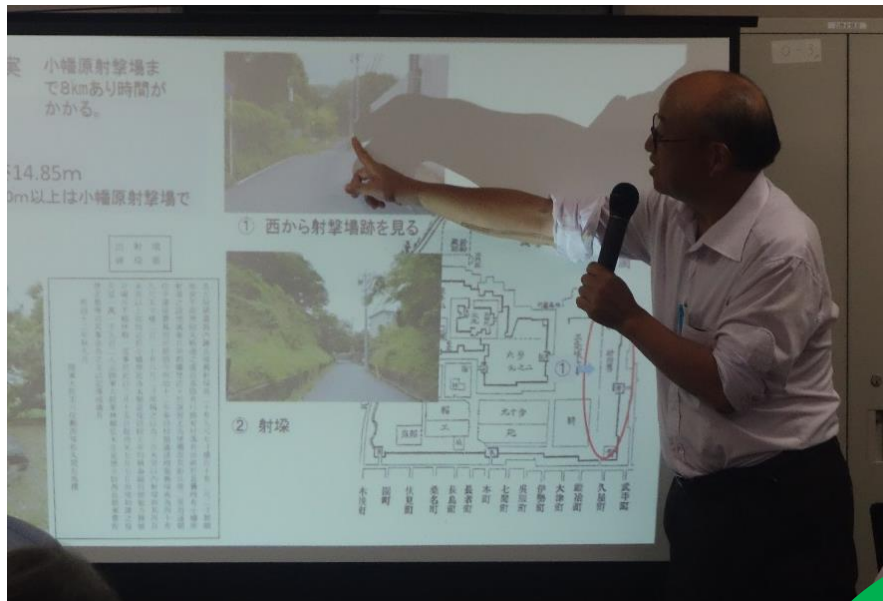
(47歳、女性)

すごく自分の人生において貴重な体験となりました。全く体験を聞いたことがなく、新鮮な体験になった。見せかけの平和ではなく心から平和になってほしいと思いました。

(29歳、女性)

専門家による特別講座

「専門家による特別講座」では、愛知・名古屋 戦争に関する資料館のアドバイザーを務めていただいている 3 人の専門家の先生に、「愛知・名古屋の戦争遺跡～記念碑からみた戦争と国民～」、「狙われた軍需工場～愛知時計と豊川海軍工廠の空襲～」、「航空機の開発・製造と飛行場～三菱・愛知・川崎の戦前・戦後再開～」のテーマで、各分野からみたこの地域の戦争について講演していただきました。



身近なところに、戦争を
考える遺跡があることを
知らされ街をみるめが
かわってきそうです。
(女性)

尾張・岐阜地域における
航空機製造会社と飛行場の
歩みがよく分かった。
(64歳、男性)

広島と長崎の原爆のこと
しか知りませんでした。
都市部でも多くの被害が
あったことを知ることが
できて良かったです。
(41歳、女性)

専門家の方のお話、
すごくわかりやすかったです。
自分で資料をみるだけでは
わからないことがたくさん
あるなと思いました。
(29歳、女性)